

国際大会委員会

委員長 L. 小室 良治

ライオンズクラブ「ウィ・サーブ」は全世界的、音楽・酒も世界的共通なものです。それを通じて、世界平和を望みます。

ライオンズクラブ国際協会の目的である「世界の人々の間に相互理解の精神を培い発展させる」ことを支援するような活動に参加するクラブに奨励します。

須藤ガバナーが目標とされる事項を達成するため、東洋東南アジアフォーラム、そして、来年の福岡国際大会を成功させるために、勧誘と取りまとめを行っていきます。

会則委員会

委員長 L. 山田 裕史

クラブ運営活動もキャビネット運営活動も、すべて国際協会会則に準拠したものになっています。いわゆる「優位性」が国際協会会則及び付則にあるのです。例えば地区キャビネット会則では3か月ごとに開催する定例会議の内、特に第1回は、国際大会終了後、30日以内の開催が定められています。クラブ会則に至っては、どのクラブも共通の国際協会の標準版クラブ会則に基づいた活動となっています。

そこで、委員会目標は、まず2015年6月の国際大会での改訂があれば、地区ガバナーからのご指導をいただき、クラブ会長が円滑にすべての会員へ伝達が行われますよう委員会活動を進めたいと存じます。また、複合並びに地区会則の改訂についても、すみやかな周知のための方策を実施したいと思えます。

エクステンション委員会

委員長 L. 阿佐美 三郎

今年度の地区ガバナーL. 須藤正明のガバナーズ・スローガンは【思いやりの奉仕】であります。このガバナーズ・スローガンの下、(出会いから思いやりがあれば相互理解を深める)という事で、思いやりの精神を重視し、目的達成に役員・会員各位のご協力をお願いいたします。

- 今後のエクステンションについて、行程表を作成し、1ヶ月1回程度、各委員と協議の場を設けて進めていきます。入会の可能性のある知人等がおられましたら、ご紹介をお願いします。
- ガバナー方針「エクステンション 1クラブを立ち上げる」を目標達成するために、各委員のご協力をよろしくをお願いします。
- キャビネット正・副幹事、GMTコーディネーター及び委員と連携して進めていきます。
- 主に明和町、千代田町、邑楽町、館林市地域に1クラブ結成を達成できるように進めています。

PR情報・IT委員会

委員長 L. 木下 不二夫

333-D地区各クラブ及びキャビネット各委員会の活動を紹介し、推進喚起することが「PR情報・IT委員会」の任務です。

その方法として、ここ数年、取り組んでいただき、ITの仕組みとして構築されてきた「333-D地区ホームページ」をさらに活用し、多くの地区メンバーへ「読んでもらえる内容」とし、情報伝達の充実を図っていきたいと考えます。

結果、各クラブの「地域に根ざした奉仕活動」に、共感が生まれることで一般社会への理解が高められ、会員増強のアクションが取りやすくなるような内容にしたいと考えます。

献眼・献血・アイヘルス・糖尿病・聴力委員会

委員長 L. 阿部 宏作

1. 群馬県アイバンクと更なる連携をとり、献眼登録の普及啓発に推進してまいります。献眼登録者数は、8年連続で全国1位となりましたので、今年度より一層努力を重ねていく所存です。今年度は、まだ1度もアートバルーンを使ってイベントを開催していないクラブに地元のイベントにて献眼登録を推進していただく。(アイバンク啓発委員会に指導を依頼する)
2. 献眼登録数は増加しているが、献眼者は減少している。クラブメンバー（ご家族含む）からの、提供の増加を図る。その為にはクラブメンバーのアイバンク活動の理解を深める必要がある。今年度は献眼献血セミナーの早めの開催を予定する。
3. (公財)群馬県アイバンクへの寄付金が税額控除となるので、メンバーからの寄付金を募っていく予定です。また、アイバンクの賛助会員制度もご理解いただき、賛助会員を募ります。個人からの寄付金・賛助会費も所属クラブの寄付金額となります。

LCIF委員会

委員長 L. 赤井 重夫

LCIF（ライオンズクラブ国際財団）は、我々の誇りとする財団であり、世界的規模の人道奉仕を行っており、その奉仕団体としての評価は世界一と謳われています。

(2007年、世界一のNGO【非政府組織】として表彰されました)

「We Serve」のモットーを体現するがごとく、会員一人20ドルの献金や、その他の献金プログラムによって、世界中の会員が少しずつの力を合わせて、何十万ドルという支援を実現しています。

須藤ガバナーがLCIF国際委員及び地区LCIFコーディネーターとして任命をされておりますので、LCIF委員会では、例年通り、「LCIF」についての正しい理解と献金の奨励をクラブに行いながら、献金額強化を図っていきたいと考えます。

ガバナー方針である 1000^{ドル}会員（メルビン・ジョーンズ・フェロー）を 100 名又は 100 口以上、その他クラブ献金、20^{ドル}献金会員をそれぞれ増やしていけるよう、ご協力をお願いいたします。

環境保全・社会奉仕・アラート委員会

委員長 L. 大川 丈雄

当委員会はライオンズ必携にも掲載されているように、地域の清掃、植樹、環境教育等環境保全活動、地区の防災減災活動を推進する委員会です。

今年度は以下の活動を推進したいと思います。

- ① 写真コンテストの継続
- ② 植樹及び既存植樹の育成管理の推進
- ③ 生活弱者への思いやり活動（各地域にて弱者救済活動）
- ④ 防災・減災活動の推進

青少年指導・レオ育成委員会

委員長 L. 佐々木常雄

青少年指導の為の健全育成支援に真摯に向き合い、スポーツ大会の開催や後援活動、善行表彰、各メンバーによる地域活動におけるPR、啓蒙等を引き続き、積極的に行っていききたいと思います。

また薬物乱用防止教育認定講師講座の開催とフォローアップ講習の実施と共に、各地域における学校での薬物乱用防止教室を開催し、青少年の生活を心身ともに健康となるよう、努めていきたいと考えております。

そのほか、青少年の危険行動の予防を務めるにあたり、ライオンズクエスト委員会とも連携を図り、青少年と直接かかわり、ライフスキル教育の支援をしていきたいと考えております。

レオ育成については、昨年同様、複合レオ地区協議会に参加し、レオ諸行事へ参加・協力推進を行い、将来の会員増加のため、日々細かな活動を心がけていこうと思います。

YCE・国際関係委員会

委員長 L. 松本 喜芳

YCE委員会は333複合地区が直接窓口となり、活動母体は複合単位ではありますが、そこから派遣生選出、来日生受入の様々な手配から学生及び関わる方のお世話を含めて、活動しております。

今年もすでに、新潟県佐渡ヶ島で行われる夏の国際ユース・キャンプ、派遣生の研修や、

受入家庭のオリエンテーション等の準備が始まっております。

来年の夏は、国際ユースキャンプが群馬で開催されるため、忙しくなります。

国際関係としては、青少年の交換を通して、様々な国の人々と関わる青少年の育成と我々メンバーの国際理解を推進します。

また、地区予算とは別に、チャリティ事業も行い、派遣生支援の充実等、図ることになっておりますので、今回も時機を見て実施したいと考えます。

よろしく願いいたします。

ライオンズクエスト委員会

委員長 L. 関口 好一

ライオンズクエストは私で復活して3年目を迎えます。クエストプログラムは子どもたちに生きる力を身につけてもらうもので、困難に立ち向かう術を教えることを基本に考えています。私たちクエスト委員会はLCIFからの交付金事業をこの12月迄にワークショップを7月・9月・11月の3回実施の予定を立てて活動していきたいと思っています。その他、昨年まで実施してきました、各クラブセミナー、クエストセミナーの実施も考えています。

*** 複合地区ガバナー協議会でも、100周年事業としてライオンズクエストが取り上げられました ***

そして、ライオンズクエスト委員会の中の相互理解の充実を図り、クエストプログラムの啓蒙活動・普及に委員会全体で取り組んでいきたいと思っております。

各クラブでのクエストプログラムのご理解をより深め、ますます発展させていきたいと思っております。

年次大会実行委員会

実行委員長 L. 川畑 卓也

2014.4.19（日）、第61回年次大会が成功裏に挙げられました。事前の実行委員会や、前夜祭、大会に参加し、松本ガバナー、大嶋実行委員長及び役員の皆様の叡智と努力を目の当たりにしてきました。その中の見習うべき多くの点を取り入れながら、準備をしていきたいと思っております。

2015.4.17（日）第62回年次大会を館林において行います。

大会は333-D地区群馬53クラブが行う、奉仕活動の集大成である結果・発表の場です。大会準備にあたり、1R2Z内、8クラブ役員の皆様のお知恵とお力をお借りし、進めていく所存です。

須藤ガバナーのガバナーズ・スローガンは「思いやりの奉仕」です。いうまでもなく、ライオンズクラブは奉仕団体で、やさしい思いやりを伴った奉仕を通して、相互理解が深まり、平和な世の中になる・・・この一年そのスローガン結果が大会に表れるよう、意識して過ごしていきたいものです。

式典会場は“館林市三の丸芸術ホール512席”です。1066席の文化会館大ホールが耐震工事中で、手狭を余儀なくされました。与えられた条件の中、“結果オーライ”となれますように、ブラザークラブメンバーのお力添え、ご協力をお願い申し上げます。